



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
コード番号 3600 URL <https://www.fjx.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 藤井 一郎
問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理部長（氏名） 松尾 勇治（TEL）075（463）8111
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,782	△3.3	△108	—	△57	—	△64	—
2025年3月期中間期	2,877	△5.0	△97	—	△88	—	△81	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △113百万円（—％） 2025年3月期中間期 225百万円（△46.6％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△47.16	—
2025年3月期中間期	△59.01	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	11,784	9,971	79.0
2025年3月期	11,862	10,185	79.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 9,312百万円 2025年3月期 9,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,631	△0.3	△122	—	△45	—	△79	—	△57.69

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	1,468,093株	2025年3月期	1,468,093株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	91,611株	2025年3月期	91,485株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	1,376,532株	2025年3月期中間期	1,376,608株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 中間連結貸借対照表	P. 4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、引き続き訪日外国人によるインバウンド需要は堅調で、所得や雇用環境も改善傾向が続きましたが、食料品や日用品を始めとする国内諸物価の上昇が続き、消費者の節約志向は一層高まりつつあり、国際情勢と共に先行きは不透明です。

当社グループがかかわるわが国のアパレル・ファッション業界や手芸関連業界は、インバウンド消費の減速傾向に加えて、節約志向の高まりに記録的猛暑などの気候要因も加わり、衣料品や手芸関連品の消費はその影響を受けてまだら模様となりました。また中国におきましても経済の減速により衣料品消費は低調な状況が続きました。

これらにより、当社グループの縫い糸の受注は、当中間期も衣料品用、手芸用共に回復感が感じられない状況となりました。

これらの状況に加えて、為替換算レート変動の影響もあって、当中間連結会計期間の売上高は、2,782百万円（前中間連結会計期間比3.3%減）となりました。

利益面におきましては、売上高の減少に加えて、当社の生産減少による工場操業度の低下や販売品目構成の変化、原材料価格の高止まりなどにより、売上高総利益率が低下した影響で、営業損失は108百万円（前中間連結会計期間は97百万円の損失）となりました。

また、営業外損益において為替差損が為替差益に転じたこともあって、経常損失は57百万円（前中間連結会計期間は88百万円の損失）、親会社株主に帰属する中間純損失は64百万円（前中間連結会計期間は81百万円の損失）となりました。

当中間連結会計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

日本

当セグメントの中間連結会計期間は、当社の2025年4月から9月まで、国内子会社の2025年2月から7月までの業績が連結されております。

当中間期のアパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましては、インバウンド消費に陰りが見え始めたことや、諸物価上昇による消費者の節約志向の高まりに加えて記録的猛暑などの気候要因もあって、国内の衣料品や手芸関連商品の消費はまだら模様となりました。

このような状況の中、米国とわが国の関税交渉の大筋合意を受けて手芸用縫い糸の米国向けのビジネスにつきましては、受注も若干回復傾向となりましたが、秋冬物衣料品の生産は慎重で、国内における衣料品の原材料や縫製資材の需要は回復感のない状況が続きました。

これらの状況から当セグメントの売上高は2,258百万円（前中間連結会計期間比0.2%減）となりました。

また、利益面につきましても、当社の工場操業度の低下や販売品目構成の変化、原材料価格など製造コストの高止まりによる売上高総利益率の低下が響いて、セグメント損失は84百万円（前中間連結会計期間は79百万円の損失）となりました。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当中間連結会計期間は、2025年1月から6月までの業績が連結されております。

当中間期も日本向け衣料品の生産が中国からベトナムを始めアジア他国に移行する動きは変わらず、中国におきましては、経済の減速により、衣料品の消費マインドも低調で、当社グループの中国事業も販売面では厳しい状況となりました。またベトナムでは引き続き受注も堅調ながら、タイ国におきましては、事業コストの削減に努めたものの、経済の低迷と消費の落ち込みから厳しい商況が続いております。

これらに加えて、為替換算レート変動による影響もあって、当セグメントの売上高は524百万円（前中間連結会計期間比14.7%減）となりました。

一方利益面につきましては、売上高の減少があったものの、原材料の調達価格低減の成果も徐々に出始めたことや、中国の工場操業度が引き続き維持できていることもあり、セグメント利益は0百万円（前中間連結会計期間は41百万円の損失）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて78百万円減少し、11,784百万円となりました。主な増減は、投資有価証券の増加257百万円があったものの、現金及び預金の減少213百万円、建物及び構築物(純額)の減少100百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて136百万円増加し、1,813百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加56百万円、その他(固定負債)の増加82百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて214百万円減少し、9,971百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の増加176百万円があったものの、利益剰余金の減少133百万円、為替換算調整勘定の減少171百万円、非支配株主持分の減少82百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期連結業績につきましては、先行きの状況は不透明ながら、2025年5月14日に公表いたしました「2025年3月期決算短信」における通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,538,547	2,325,040
受取手形及び売掛金	1,041,035	1,028,988
電子記録債権	274,797	302,800
棚卸資産	2,803,699	2,818,644
その他	64,916	64,553
貸倒引当金	△3,499	△2,617
流動資産合計	6,719,497	6,537,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,786,070	1,685,713
その他(純額)	673,897	636,975
有形固定資産合計	2,459,968	2,322,688
無形固定資産	228,617	209,854
投資その他の資産		
投資有価証券	1,983,404	2,240,809
その他	473,608	475,707
貸倒引当金	△2,101	△2,017
投資その他の資産合計	2,454,911	2,714,499
固定資産合計	5,143,497	5,247,042
資産合計	11,862,995	11,784,451
負債の部		
流動負債		
買掛金	375,857	432,081
未払法人税等	6,521	14,753
賞与引当金	39,093	38,812
その他	166,069	160,979
流動負債合計	587,542	646,627
固定負債		
役員退職慰労引当金	245,041	236,798
退職給付に係る負債	48,494	50,777
資産除去債務	32,788	32,788
その他	763,338	846,251
固定負債合計	1,089,662	1,166,615
負債合計	1,677,204	1,813,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	5,902,052	5,768,306
自己株式	△109,415	△109,611
株主資本合計	7,487,049	7,353,107
その他の包括利益累計額		
其他有価証券評価差額金	1,016,116	1,192,607
為替換算調整勘定	915,291	743,376
退職給付に係る調整累計額	26,185	23,542
その他の包括利益累計額合計	1,957,593	1,959,527
非支配株主持分	741,147	658,573
純資産合計	10,185,790	9,971,208
負債純資産合計	11,862,995	11,784,451

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,877,993	2,782,690
売上原価	2,201,033	2,145,320
売上総利益	676,960	637,370
販売費及び一般管理費	773,963	745,996
営業損失(△)	△97,003	△108,626
営業外収益		
受取利息	3,631	5,006
受取配当金	21,954	27,943
賃貸料収入	12,029	12,108
その他	10,659	17,294
営業外収益合計	48,275	62,352
営業外費用		
賃貸料収入原価	5,597	5,315
為替差損	29,869	—
事業準備費用	1,692	3,976
その他	2,202	2,184
営業外費用合計	39,361	11,476
経常損失(△)	△88,090	△57,749
特別利益		
固定資産売却益	128	16,444
特別利益合計	128	16,444
特別損失		
固定資産売却損	—	311
固定資産除却損	85	130
特別損失合計	85	441
税金等調整前中間純損失(△)	△88,047	△41,746
法人税、住民税及び事業税	15,210	17,089
法人税等調整額	△5,648	7,144
法人税等合計	9,561	24,233
中間純損失(△)	△97,608	△65,980
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△16,376	△1,065
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△81,232	△64,914

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△97,608	△65,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,852	176,491
為替換算調整勘定	355,403	△221,376
退職給付に係る調整額	△6,925	△2,642
その他の包括利益合計	322,625	△47,527
中間包括利益	225,016	△113,508
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	157,920	△62,980
非支配株主に係る中間包括利益	67,095	△50,527

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,263,103	614,889	2,877,993	—	2,877,993
外部顧客への売上高	2,263,103	614,889	2,877,993	—	2,877,993
セグメント間の内部売上高 又は振替高	73,279	291,732	365,012	△365,012	—
計	2,336,383	906,622	3,243,005	△365,012	2,877,993
セグメント損失(△)	△79,998	△41,838	△121,837	24,833	△97,003

(注) 1. セグメント損失の調整額24,833千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,258,252	524,438	2,782,690	—	2,782,690
外部顧客への売上高	2,258,252	524,438	2,782,690	—	2,782,690
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145,539	372,793	518,332	△518,332	—
計	2,403,791	897,231	3,301,022	△518,332	2,782,690
セグメント利益又は損失(△)	△84,189	672	△83,516	△25,109	△108,626

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△25,109千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。